



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 人
カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

11月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】創られたものへの配慮
【宣教】神の名が平和をもたらすこと
【日本の教会】死者のために祈る

「イエスにお目にかかりたいのです」
(ヨハネ12・21)

2009年
教区司祭黙
想会) 開催

宗像の福岡黙想の家(御受難会)で10月19日から23日まで開催された福岡教区の邦人司祭黙想会は33人の司祭が参加して行われた。カルメル会の中山博道神父の霊的講話、22日には久留米の聖マリア病院の協力で希望者の健康診断も行われ、心身ともに新たにされ各小教区へ赴いていった。



今回の講師を務められた中山博道神父(カルメル修道)

エリヤの時代すなわち国家ぐ
るみで神に背を向けた時代に

聖書をひもときながら、あるいは専門の霊性神学の立場から今後教会及び司祭が歩むべき方向について語った。例えば現代は、物質主義、世俗主義が横行し、教会もその影響を受けている。ここで言う世俗主義とは、人生を現世的なレベルだけで捉え、超越性、神聖なもの認めない立場のことであるが、この立場は、聖書では例えば、

死について

死者の月

キリスト教は、死を前にした人が穏やかに、できることなら喜びをもってそれに向き合うことができるように助けようとする。

「アダムによってすべての人が死ぬことになった」(Iコリ15・22)とあるように、神は人を死に定められた者としては創造されませんでした。人祖の罪の結果、人は死に支配される者となりました。こうして死は人にとって忌むべきもの、できることなら避けたいものとなってしまったのです。ところで福音書には死を前にして苦しむイエスの姿があります。十字架につけられたイエスの姿は実際に苦しむ姿です。だからといってイエスは本意に十字架上で亡くなったわけではありません。その姿が真に示すのは、「多くの人の身代金として自分の命を捧げるため」(マルコ10・45)にこの世に来られたイエス・キリストが神の愛を多くの人に伝え、かれらを神の方に向かわせることに最後まで忠実であったということです。

またイエス・キリストは十字架上で殺されたままではなく、三日後に復活して「死者の中から最初に生まれた者」(コロ1・18)となりました。つまり、人間的な死を超える新しい命に生きる道を示してくださったのです。そして自分を信じ従っている者を同じような命へ招いてくださっているのです。このようにイエス・キリストによって、人の死は「滅びではなく、新たないのちへの門」となり、キリスト教は人の死を肯定的に捉えることができます。

沌中で神は語り始める。そのような様相の中でみ言葉を聴くとき、自分が開かれ、変えられていった体験があった。現代もいろいろな意味で困難を伴う時代であるが、時代を見据えて創造的に生きていくことの大切さを語った。司祭は、どのような状況においてもまず、イエスとの交わりを深めることを再認識させた。

キリスト教講座リーダー研修会開催

信 仰 教 育
委 員 会



第二回キリスト教講座リーダー養成の修了者

かり、フォローアップ研修が必要ではないかとの気づきが今回の企画に繋がった。その中で今回の受講者は、司祭3人、助祭1人、信徒19人、2日目は宮原司教も参加、計24人がこの研修に取り組んだ。

この「キリスト教講座」は、1975年に聖コロバン公司司牧委員会(担当グリフィン神父)によって開発され、熊本地区では、すでに20数年前から信徒による求道者養成のプログラムとして実践されている。同時に養成者となる信徒のリーダー養成も行われてきた。

9月の連休中の20日(日)から22日(火)まで熊本の高森町にある「ペンション根子岳山想」で、福岡教区信仰教育委員会(担当青木悟健軍教会主任神父)主催の「第二回キリスト教講座リーダー研修会」が行われた。

2006年から2007年に宗像の黙想の家で行われた第一回目の研修会に参加したメンバーは、その後すぐに、それぞれの教会で講座を開講してきている。このメンバーがそれぞれの教会で講座を開く中で、様々な問題にぶつ

カトリック
学校の窓

ミッシェンスクールが他
の高校と一番違うのは、「祈り」でしよう。朝に夕に、行事や公の式で、あるいは
昼食の前にも
歌うことで必
ず祈ります。
幼稚園児が
小さな手を合
わせて先生の
後に続けて可
愛い祈りをさ
さげる、教職
員が一つの心で始める会議
で祈る、のはとても大事な
ことです。おそらく「祈
る」ことを知らなくても人

は祈っているとは思うのです
が、学校生活で教えられてい
くうちに、確かな祈りの味わ
いを体験的に知ることができ
ます。自分のための祈りから、
次第に友人や教師、家庭に広
がり、飢餓に苦しむ子ども達
や、災害に苦しむ人のため、
病気の方や、高齢者といった、
出会ったことも顔も知らない
誰かのために祈ることを覚え
ていきます。幸せを願い、感
謝を表すこと、また「誰か」
を思い起こす作業は、深い思
いやりの心であり、愛すること
だと思えます。

歌は祈りです。校内で聖歌
が聞こえてくると楽しくな
ります。生徒たちが思わず
聖歌を口ずさんでしまふ、
これは学校に慣れたことの
目安かもしれません。歌い
やすいメロディーは生徒た
ちの心を惹きつけ、宗教の
授業のはじめに歌うこと
が、より楽しくなります。
11月は「死者のために」
祈りますが、それは亡くな
られた方にご挨拶するよう
なものでしょう。祈りで互
いが近く感じられれば、大
変有り難いことです。
八代白百合学園高等学校
シスター・谷口 貞女

「キリストと本当に出会う体
験」をすることである。
実行委員会では今後、より
よい研修会が開催されるよ
う、開催時期、場所、宿泊施設、
対象者など、今回の反省を踏
まえ、内容も検討中である。
最終日、参加者全員が福岡
教区長、信仰育成委員会発行
の修了証を手にした道に再
派遣された。

熊本地区における「キリス
ト教講座リーダー養成」の
導入には、当時の熊本地区
信徒使徒職協議会司牧部を中
心に、司牧に関して司祭依
存型の教会にあつて、司祭の老
齢化、司祭召命の減少という
現実の中で受洗後の信徒の成
長、また信徒自身の成熟のた
めに必要なプログラムとして
1996年ころから取り組み
が始まっていた。

キリスト教講座の基本的な
枠組みは、先ず「自分との出
会い」で、自分への気づき、
回心の呼びかけが中心にな
る。次いで「キリストとの出
会い」は徹底したキリストの
愛に導かれる。最後が「教会
との出会い」で共同体が紹介
され、受洗者への招きが自然
な形で行われることになる。



死者の月に入った。西洋
では古くから「Memento
Mori」すなわち、「人間死す
べき者であることを覚えよ」
と言われて、死について考え
ることは大切なこととされ
た。しかし、日本では死は忌
むべきもの、穢れと捉えられ
てきた面もあり、死について
の感覚は大いに違っている
と思われる▼動物は、死につ
いて考えない。人間は絶えず
意味を問う。何故生きるのか、
何故苦しむのか、そして何故
死ぬのか。人間は物事の意味
を問い、答えを求める▼「精
神的苦悩は、他人に打ち明け
ることによって軽くなる。な
ぜであろうか。聞いてくれる
相手の理解や愛情に触れて、
励ましや慰めを受けるという
こともある。しかし、何よ
りも苦しみの感情を概念化
し、言葉にするということが、
苦悩と自己との間に距離を作
るからではなからうか」(神
谷美恵子「生きがいについ
て」)。確かに概念化すること
によって、いままでぼんやり
としていたことが、明確にな
るといことは納得がいく。
言葉にすることによって苦し
みや死と距離が出来るという
発想はちよつと新鮮であった
▼教会の中で、自分の悩みや
苦しみについてフランクに語
り合える場合は、どれほどあ
るだろうか。教会は、今を生
きている人々、困難な問題に
直面している人々にとって、
それに応える姿勢が求められ
ると思うのである。死者の月、
亡くなられた方々のために祈
ると同時に、私たちの生し
て死について語り合う時を持
ちたいものである。M

福岡地区青年会に出会う

最近、あちこちで「福岡の青年は元気ですね」という声を聞くことがある。そこで設立3年目を迎えるという「福岡地区青年会（会長Ⅱ豊嶋仁さん）」の有志が集まってもらった。参加してくれた青年は社会人と学生の8人。青年会に関わって9年のベテランから地区青年会が設立してからの新メンバーもいる。彼らの間には経験の壁も、小教区の壁もない。地区青年会の設立にさかのぼること6年前、有志の会としてスタートした青年達の集まりはどのように歩んできたのか、関わりのきつかけやその魅力などを語ってもらった。



クミリーディング、あっちこっちミサ、九州青年キャンプそして、FYCCなどに参加し、そこで出会った人々との関りの線上です。でも、いろんな集いに参加しながら、だんだん自分の小教区の大切さにも気づきました。だからほとんどの青年が、自分の小教区では教会学校などにも関わっています。

みなさんの青年会との出会いはⅡ(WYD)ワールドユースデイ、(NWM) ネットワー



誰が議長をするか(7)

ここでいう会議とは、連絡や実務の調整中心のものではなく、小教区の方角を変えるような大事な決定をする会議

た。今年7回目でした。

「有志の会」として歩む中で、困難だったことはⅡいろいろありますが一つは指導者の不在でした。司祭かシスター、または教会のことを正しく教えてくださる相談役のような人が欲しいと思っていた。そんな霊的渴望が信仰養成係になり地区青年会の中に『ひつじ団』という霊的学びの会をつくりました。

「ひつじ団」はどんなことをしているのⅡロザリオの祈りや聖書を読んでの分かち合い。紹介していただいた神父様に講話をお願いしたり、典礼の勉強、黙想会もします。これだけの集まりの中から司祭召命が少ないという声がありますⅡアウグスチノ会



に入会した青年がいます。あえて司祭召命と問われると、何事も自分の将来を考えると「あこがれ」が大事だと思います。わたしはあこがれる教師に出会いましたから。

編集室から

今回彼らが語ってくれたことは、現代の教会に対する問題提起を多く含んでおり、またそれにとどまらず、彼らが「教会」を自ら築いていることにある種の驚きと感銘を受けた。彼らの話からテーマをいくつか取り出すとするならば、第一のテーマは、「共同体」である。教会は神の民、神の家族と言われる。しかし、どれほどの小教区がお互い支え合い、生かし合う共同体になっているだろうか。彼らは言う。「ここに（地区青年会）集まってくる人は、みんなやさしい、会社で疲れてもここに居場所や安らぎあつて、ここに帰ってくる」とホッとする。こんな教会、今どれほどだろうか。第二は「絆」である。彼らは言う「私たちは互いを絶対見捨てない」という信頼感で結ばれている」そう言い切った青年がいた。一

参加者に平等に発言させることが容易になるだろう。もとも、司祭の役割の一つは「共同体のコーディネーター」である。これが前回の提言であった。

司祭が議長をすることのメリット、デメリットをどう考へるべきだろうか。私の知るアメリカ流の会議方式では、正議長の他に、仮議長を置く。正議長が自分の発言をするときだけ仮議長が進行を裁き、それが一しきり終われば、また元の議長に戻るのである。小教区の会議でも、やってやれなくもないのではないか。信徒が会議全体を通して議長として流れをコントロールするのは難しくても、多少

ある。大事な会議で、議長が同時に強力な発言者でもあることは良くない。自分の発言に対する否定的なリアクションを、自分で議長としての確に裁くことは難しいからである。これは決してさいなことではない。今は司祭が議長をしない方が普通だと思ふが、それは司祭が最も積極的な発言者であることが多いからである。

御受難修道会 宗像修道院長

般に教会の中でも人間関係は希薄になっていると思われるが、彼らの中では、このような互いの信頼の絆で結ばれている。さらに彼らの絆は小教区という小さな単位を簡単に飛び越えて、超教区さらに世界へとつながっている事にも驚きを感じる。第三は、養成である。どちらの小教区でも建物が老朽化し、築〇〇年、あるいは創立50周年とかで、しばしば建物改築新築を計画している声を聞く。勿論各家

庭の金銭的負担も少なくないはずだ。しかし、人を育てるために沢山のお金を使うということはあまり聞かない。青年たちは自分たちの後継者を育てるためにも〇〇年前から、毎年中高生のためのキャンプを入念に計画し、実行してきた。このキャンプには部活に塾にと忙しいはずの中高生たちが、あつという間に募集定員を上回るほど申込をする。最後に「霊的な渴望」である。彼らは、特別の指導者もなく、自分たちで言葉や分かち合い、教会の歴史を学び、神学を学び、霊性を高め合ってきた。3年前から始まった「チューサー」(火曜日と木曜日の研究会)には、今でも10名以上の地区の若者が集まってくる。

私たちの教会共同体に欠けているもの、あるいは忘れられていることについて彼らは気づかせてくれないだろうか。彼らの声にもっと真剣に耳を傾けてみたい。

後日、参加してくれた青年から感想が送られてきた。3人の思いを紹介する。

葉真寺健臣さん

自分にとっては、信仰養成の場であり、成長の場であり、癒しの場でした。今の、混沌

ちょっと一息



カーナビが事故にかまわず行けという 落ち葉一枚一枚辞世持っている 深堀正平

とした社会に生きるわたしたちにとって、同じ信仰を持ち同じ方向に向かって歩んでいく存在がいるのはとても大切であり、また、心強いものです。日々の生活では、様々なことに振り回され、大切なものを失いそうになったり、心がすさんでいきそうにもなります。しかしここに来れば、なぜか分からないが自然と笑顔になれるし、心が癒される気がしました。また、ここには、同じ考えをもつた皆さんの仲間がいるので、一緒に過ごし、話をし、悩み、歩むことがとても楽しく充実していました。その日々の中で、自分も成長させられたな、様々な方から学ばせてもらったなと思います。自分は一人ではないという原点をしっかりと教えられた場でした。



富上幸恵さん

福岡地区青年会は私にとって第一の職場です。青年会は私のタレントをフルに使い神様の道具として働ける場所なのです。なのである意味神様は社長。オフィスは教会。私を必要としている所に派遣してください。し、お恵みをたくさんくださいます。働けば働くほど出会いがありお恵みに気付かせてください。

後日、参加してくれた青年から感想が送られてきた。3人の思いを紹介する。

自分にとっては、信仰養成の場であり、成長の場であり、癒しの場でした。今の、混沌

第一の職場なので本当に生活の中心になっています。好きでやっていることなので仕事休みの日曜祝日の予定がすべて埋まってしまっても逆に幸せを感じます。ちよつと疲れて休んでもみんな温かく見守って待っていてくださるので心にゆとりが持てます。ココがリアルな職場と違うところですね。

一緒に折れる仲間がそばにいる。『主は皆さんと共に』という言葉がよく似合う会だと思ひます。

葉真寺綾乃さん

私にとって『福岡地区青年会』とは、出会いの場です。様々な体験と祈りを通して、仲間と出会い、教会と神さまに再会しました。たくさんの笑い、涙、悩み、喜び、悲しみを共に分かち合える存在ができました。そして、その出会いを通して、人との関わり方、物の見方、考え方、選び方：生きるうえで大切な知恵をいただいたと思います。生き方が大きく変わったと思います。私は、自分の楽しさばかりを追いかけてきました。今もそういうところは大きいにあります。ただ、それだけでは得られないものがあることを知りました。普遍的な神への信仰、神を介してつながっていく人とのきずな。私にとって一生大切にしていきたいものばかりです。

現在の福岡地区青年会会長は大名町教会の豊嶋仁さん。『この歴史を次の世代の青年にも繋いで行きたいです。』と彼は語っている。

■ひつじ団予定
*チューサー学習会Ⅱ
11月10日(火)

*黙想会Ⅱ
11月22日(日) 午後
*会場Ⅱ いずれもカテドラル

『待降節の黙想会』ご案内

- ① 12月12日(土)～13日(日) 《染野治雄神父指導》
 - ② 12月19日(土)～20日(日) 《来住英俊神父指導》
- 時間：①②共に、16時受付～翌日15時まで
会費：7500円（一泊三食代）

カトリック福岡黙想の家

聖堂/洋個室（洗面トイレ付）/冷暖房/浴室シャワー室/障害者用トイレ/エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
<http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm>



ミサ用ワイン



VINO DE MISA

スイートタイプ (赤) (白)

ご用命 お問い合わせは
有限会社 大楠酒店
ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

司祭シリーズ⑦

「召命と神学生」



F. レナト神父

今年の5月3日、全小教区に配布された「司祭と修道者のための祈り」を、皆さん唱えたでしょう。でも、常に召命のために祈っている人は「一回だけでも召命者に出会えたら、なおさら熱心に祈っていただく」と希望し、考えたことはありませんか。

武蔵ヶ丘共同体の皆さんが体験してきたことを報告します。この数年私たちは司祭の道を歩いてきた大塚助祭を身近に見守りました。助祭叙階を神様に心から感謝し、3月20日12時間の聖体礼拝賛美式をしました。彼は、大神学校から帰る度に報告に来て、日曜日に共にミサを捧げ、特に彼の説教を聞いたことは、多くの信徒達にとつて助祭のデビューを見る初めての経験でした。その面で教区の多くの皆さんは、毎年司牧実習のために、神学生を迎える福岡市内の教会の信者をうらやましがらうでしょう。

でもご存じのように、大塚助祭は大名町教会で一年間司祭を務めます。一回だけでもいいから、ぜひ自分の教会に誘ってみてください。

去年、天草で行われた熊本地区のサマーキャンプに二人の神学生、谷口さんと大塚さんと一人の修道女（シスター二田）も参加しました。子どもたちにとつてこの3人、つまり聖職者と一緒に生活し、殉教者のことを学び、同じ食卓を囲み、同じグラウンドで遊び、同じ祭壇で祈ったりしたことが、どのような講演会よりも召命の魅力、その喜びを伝えたいにちがいないと思います。なぜなら子どもたちは召命者に直接に触れ、肌で感じたからです。

今年、この場を借りて、神学生、司祭の召命を考えている青少年に呼びかけ、募集したいことがあります。1日、一緒に大神学校で過ごしてみませんか。ミサ、サッカー、分かち合い、とにかく一緒に。召命に関して、祈りと共に、出会い、触れあい、分かち合いは欠かせないものです。ことわざどおり「百聞は一見に如かず」。私たちの模範であり、よき牧者であるイエス様のアプローチでしよう。「来て、見なさい、そうすればわかる。」（ヨハネ1・39）

（武蔵ヶ丘教会主任司祭）

滞日外国人信徒の司牧のためにサントス・ホセ・リサル神父



福岡教区内の特に外国人信徒の司牧のために、神言修道会のサントス神父が着任した。浄水通の召命の家に居住しながら教区内の外国籍信徒の相談やゆるしの秘蹟など司牧中心の働きになる。

1948年11月19日生れ。
1974年6月21日叙階。
TEL 092・522・2311

世界難民移住移動者の日にインタナショナルミサ

行橋教会



9月27日「世界難民移住移動者の日」行橋教会に於いて、日本語、英語、タガログ語によるインタナショナルミサが行われた。行橋市近郊には企業実習生として来日し働くフィリピン青年たちが増え、4年ほど前から2ヶ月に1回、定期的に主日の午後3時から英語ミサが行われている。現在ではフィリピン青年たちのコミュニティが中心と

なり青年たちだけではなく、国際結婚をして以前から行橋近郊に住む外国籍の人々とも連絡を取り合い60人から90人の人々が集うようになってきた。3年ほど前からは、幼児洗礼や初聖体など秘跡の依頼や教会学校、教会行事への参加、また、主日のミサ後のコーヒータムでも教会共同体の中に自然な雰囲気のうちとけてきている。特に、この日のミサは多くの外国籍の人たちを意識した典礼が捧げられた。今年はフィリピン、マレーシア、アメリカなどから来日し行橋市近郊で働く人々が共に祈り、山元眞神父によつて3組のフィリピン籍の母親の家庭の子どもたちと1組の日本人家庭の子どももの幼児洗礼式がミサの中で執り行われた。約30人のフィリピン青年たちがリードする英語での聖歌のプレゼントや受洗し

た子どもたちへ教会信者代表から記念品も贈られた。また新たに企業実習生として働くために来日してきた青年たちも教会共同体の皆さんに紹介された。教会に集う事が言葉も習慣も違う外国籍の方たちの癒しであり、違う企業や慣れない環境の中で生活する者同士の情報交換の場ともなっている。3年間の企業実習を終えて帰国する青年たちが教会やコミュニティとの繋がりを後輩たちに確実に引き継いできている。洗礼の恵みを受けた子どもたちのためにフィリピンママたちの手作り料理と、お菓子、ジュースなどが沢山持ち寄りられ、日本人のお父さんたちが作った子どもたちの顔写真入りのお祝いボードも飾られミサ後は楽しいパーティーとなった。受洗願いの用紙には一人の赤ちゃんと沢山の代親が名を連ねたものも一緒に提出されるなど、お国柄の違いも見られた。一人の子どもの父親は、

フィリピン人同士だけではなく日本の社会の人と自然な付き合いができることが子どもや、特に外国籍を持つ妻のためにはいいことなのだと思います。多くの人と接する場に出たがらない妻も教会にだけは行きたいと言うので、できる限り連れてきたいと思いますと話した。難民となった方こそいかなかったけれど、移住移動して慣れない生活環境の中で生きる人々がともに集い、喜び、子どもたちを受け入れ洗礼をお祝いできたことは、ご家族だけではなく教会共同体としても素晴らしいお恵みだと思えます。また日本の教会独自の「教会籍」と言う考え方のない外国籍の方たちに、教会としてサポートできる何かの管理も必要だと改めて考えさせられました。

第5回マリアン・フェスティバル

熊本地区



それぞれの家庭を巡った聖母マリア像と共に

と、親交を深めることにある。1年間、それぞれの地区で聖母マリア像を各家庭に廻し、ロザリオの祈りが捧げられる。各地区を巡ったそのマリア像を、この日に持ち寄ることで各グループ間の出会いが行われる。

今年のプログラムは、可児夫妻の家から島崎カトリック教会まで、聖母マリア像を先頭にした行列から始まった。来賓演説者のデニー神父（ザベリオ会会員でインドネシアから来日）のユーモア溢れる話に、集まった聴衆は笑いに包まれた。

しかし、何よりもデニー神父が分かち合ってくれた話は、神父の両親がどれほど、子どもの頃から彼の信仰と聖母マリアへの信心に影響を与

えたかと言うことであつた。この集会には、現在9つの聖母マリア像のグループがある熊本市内と、武蔵ヶ丘、菊池のグループも参加した。残念ながら、遠方のグループである人吉、水俣、八代、松橋、天草、小国、玉名地区は参加できなかった。みんなが楽しみにしている抽選会は、2009年11月23日に福岡カトリック大名町教会で開催される、外国人セミナー出席のために使用するバスの借り上げ費用の補助を目的として行われた。

参加者から「フェスティバルに参加して、今年のテーマ「マリア様のように誠実に」と同じように、わたし達は皆、誠実に確固たる信念のままで生きていくことに、気づかされます。

講演会のご案内

◇泰星学園では創立記念の式典に合わせ左記の講演会を実施することにした。カトリック信徒でもある講師の桜井哲夫氏の生き様について、広く皆さまにご紹介したい。たく、ご案内申し上げます。

期日：11月4日（水）
開場：12時30分
式典・講演会：12時45分～14時15分
講師：桜井哲夫氏（詩人・元ハンセン病療養者）
演題：「私の詩と信仰」
場所：福岡市民会館大ホール（天神6）
費用：無料
問合せ先：泰星学園（☎092-712-7181）



☆マザー・テレサ 100の言葉

ヴォルフガング・バーダー 編
山本文子 訳



ひとりひの言葉、それは口より心より語られた言葉です。それは満たされた、勇気ある、そしてひたむきな生涯を語ります。女子パウロ会発行
税込定価 1260円

◇ ☆沈黙の存在
教会における女性の役割
エルジビエタ・アダミヤク 著
田村和子、A・シユチエフラ 訳
税込定価 1260円

◇ ☆サマリヤたちの殉教
新潟教区「サマリヤたちの殉教」編集委員会／編
神保亮／絵・筒井義之
／文・千原通明／訳
税込定価 1260円



「ここで死ぬ者は信仰の命を捨て、命を捨てたために生きることになる。」雪降りしける米沢の地で、信仰を証しするために散った53人の殉教録。
ドン・ボスコ社発行
税込定価 2100円

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。
費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
有限会社 森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎（092）811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日／AM 10時～PM 5時40分
日・祝日／AM 11時～PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: http://www.pauline.or.jp

み国が 来ますように！

カトリック教会のカテキズム

日 時：2010年1月24日（日）15：00

場 所：カテドラル大名町教会

講 師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）

資 料：カトリック教会のカテキズム

聖書週間特別講演会

テーマ：聖書とは？

講 師：雨宮慧神父（東京教区司祭）

福岡会場

日時：11月14日（土）19：00～21：00

場所：カトリック大名町教会

北九州会場

日時：11月15日（日）14：00～16：00

場所：カトリック小倉教会

主 催：福岡教区聖書委員会

レジオ・マリア福岡クリア 創立60周年記念ミサ

日 時：11月15日（日）14時

主 式：ドミニコ宮原良治司教

会 場：カテドラル大名町教会

*どなたでも参加できます。お待ちしております。

召命の集い

テーマ：

ふみ出そう はじめの一步

～イエスさまが呼んでるよ！～

日 時：2009年11月3日（火）9時半受付

場 所：日本カトリック神学院福岡キャンパス

*日本カトリック神学院になってから初めての召命の集いです。大勢の参加をお待ちします。

ウルトラとアガペの集い

日 時：11月29日（日）15時～18時

場 所：カテドラル大名町教会

内 容：ウルトラ／みことばの祭儀

司教講話／アガペ／親睦会

参加費：3000円

申込先：福岡教区クルシヨ事務局 徳永

FAX：093-371-2988

*各小教区宛てに申込用紙を送付していますので、できるだけまとめてFAXしてください。

日本カトリック難民移住移動者委員会

◆長崎教会管区 外国人信徒セミナー

日 程：2009年11月23日（月）

9時30分～16時30分ころ

場 所：カトリック大名町教会

参加費：無料

メインテーマ：

Sharing Cultures in Christ

～through songs and dancing～

キリストのうちに分かち合いましょう

～歌と踊りを通して～

申込み締切：11月8日（日）

申込先：美野島司牧センター（岩本光弘）

Fax:092-431-5709

問合せ先：☎0973-22-3350（日田教会 Fr.川口）

福岡教区広報室アドレス

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

10月はポカポカ陽気が続いたが、秋の気配をあまり感じないうちに11月を迎えました。先日は青年達に集まっていたが、き、貴重なお話を伺うことが出来た。互いの出会いを深め、彼らの姿勢に頭が下がる思いがしました。青年たちに感謝です。また、先月号から、1面のコラムをシスター今泉に代って、シスター谷口にお願ひしています。お二人のシスターに感謝とともに教育の現場でのご活躍をお祈り申し上げます。

編集後記

福岡黙想の家ご案内 11月

◇2日(月)～3日(火) 神の前で生と死を考える集い
◇4日(水) 福岡チェナクルム
◇5日(木)～7日(土) マッケイ神父様の黙想会
◇8日(日)～14日(土) サレジオ会黙想
◇14日(土)～15日(日) 山口・島根地区信徒養成研修会
◇16日(月)～22日(日) キリスト者のための内観黙想会
◇22日(日)～23日(月) 聖マリア在俗会黙想
◇25日(水)～26日(木) 北九州レジオ黙想会
◇27日(金)～29日(日) ゆふの会
◇28日(土) 読書会(ド・アルファの謎解き)
◇30日(月)～12/2日(水) 御受難修道会共同体の日
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 ㊟32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い

年間テーマ：聖パウロについて／レクツィオディヴィーナ

・日 時：11月19日（木）10時～15時半

・内 容：聖パウロの逮捕(使徒言行録21：27)

指 導：フランコ・ソットコルノラ神父(真命山院長)
ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
園田善昭神父／Sr. マリア・デ・ジョルジ

問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター

☎0968・85・3100 ㊟0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：10月17日、11月7日 第1・第3土曜日10時～12時

場所：カトリック大名町教会小聖堂

*基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

福岡祈りの会

〔日時〕毎週月曜11時から12時30分〔場所〕大名町教会1階〔内容〕賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい〔代表〕Br 床嶋〔問合せ〕☎092・521・2503 蓮尾

虹の会

〔日時〕11月14日（土）13時半から16時半〔場所〕カトリック大名町教会3階〔内容〕子どもを亡くした親の悲嘆の分かちあい〔参加費〕600円〔連絡先〕☎090・11162・6395 柴田須磨子

在世フランシスコ会集会

〔日時〕11月15日（日）14時から〔場所〕高宮フランシスコ修道院在世会集会所〔内容〕アシジの聖フランシスコに倣って、福音に生きるために。ミサと学習〔指導〕戸村悦夫神父〔問合せ先〕☎09

美野島司牧センター

ホームレス支援のための毎週火曜日10時半から炊き出し等への協力をお願いします。〔問合せ先〕☎092・431・1419 M・コース神父

熊本地区召命を共に祈る会

〔日時〕11月19日（木）11時〔場所〕カトリック健康教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健康教会☎096・368・2825 青木悟神父

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月29日（日）14時から〔場所〕福岡黙想の家カトリック案内所〔テーマ〕人間存在と祈り〔お話〕小宮豊氏（精神神経科医師）／来住英俊神父（カトリック福岡黙想の家院長）〔参加費〕会場内自由献金（コーヒートとお菓子つき）〔問合せ先〕☎0940・33・2731 吉永

紫苑 con 心のセミナー

〔日時〕11月24日（火）11時から〔場所〕聖クララ寮南区塩原〔内容〕死者ミサ〔問合せ先〕☎096・380・5686 堺

北九州

〔日時〕11月27日（金）13時半から15時〔場所〕カトリック小倉教会信徒会館2階〔指導〕ガブリエル神父（御受難修道会）〔内容〕「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎090・3985・5209 松田裕子

北九州召命を共に祈る会

〔日時〕11月12日（木）14時から〔場所〕カトリック北九州湯川納骨堂〔内容〕パリミツシヨンの司祭の為のごミサ（死者）〔司式・指導〕伊東成晃神父〔司教会主任〕〔問合せ先〕☎093・963・2359 江口

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月19日（木）11時〔場所〕カトリック健康教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健康教会☎096・368・2825 青木悟神父

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月29日（日）14時から〔場所〕福岡黙想の家カトリック案内所〔テーマ〕人間存在と祈り〔お話〕小宮豊氏（精神神経科医師）／来住英俊神父（カトリック福岡黙想の家院長）〔参加費〕会場内自由献金（コーヒートとお菓子つき）〔問合せ先〕☎0940・33・2731 吉永

紫苑 con 心のセミナー

〔日時〕11月24日（火）11時から〔場所〕聖クララ寮南区塩原〔内容〕死者ミサ〔問合せ先〕☎096・380・5686 堺

北九州

〔日時〕11月27日（金）13時半から15時〔場所〕カトリック小倉教会信徒会館2階〔指導〕ガブリエル神父（御受難修道会）〔内容〕「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎090・3985・5209 松田裕子

北九州召命を共に祈る会

〔日時〕11月12日（木）14時から〔場所〕カトリック北九州湯川納骨堂〔内容〕パリミツシヨンの司祭の為のごミサ（死者）〔司式・指導〕伊東成晃神父〔司教会主任〕〔問合せ先〕☎093・963・2359 江口

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月19日（木）11時〔場所〕カトリック健康教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健康教会☎096・368・2825 青木悟神父

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月29日（日）14時から〔場所〕福岡黙想の家カトリック案内所〔テーマ〕人間存在と祈り〔お話〕小宮豊氏（精神神経科医師）／来住英俊神父（カトリック福岡黙想の家院長）〔参加費〕会場内自由献金（コーヒートとお菓子つき）〔問合せ先〕☎0940・33・2731 吉永

紫苑 con 心のセミナー

〔日時〕11月24日（火）11時から〔場所〕聖クララ寮南区塩原〔内容〕死者ミサ〔問合せ先〕☎096・380・5686 堺

北九州

〔日時〕11月27日（金）13時半から15時〔場所〕カトリック小倉教会信徒会館2階〔指導〕ガブリエル神父（御受難修道会）〔内容〕「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎090・3985・5209 松田裕子

北九州召命を共に祈る会

〔日時〕11月12日（木）14時から〔場所〕カトリック北九州湯川納骨堂〔内容〕パリミツシヨンの司祭の為のごミサ（死者）〔司式・指導〕伊東成晃神父〔司教会主任〕〔問合せ先〕☎093・963・2359 江口

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月19日（木）11時〔場所〕カトリック健康教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健康教会☎096・368・2825 青木悟神父

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月29日（日）14時から〔場所〕福岡黙想の家カトリック案内所〔テーマ〕人間存在と祈り〔お話〕小宮豊氏（精神神経科医師）／来住英俊神父（カトリック福岡黙想の家院長）〔参加費〕会場内自由献金（コーヒートとお菓子つき）〔問合せ先〕☎0940・33・2731 吉永

紫苑 con 心のセミナー

〔日時〕11月24日（火）11時から〔場所〕聖クララ寮南区塩原〔内容〕死者ミサ〔問合せ先〕☎096・380・5686 堺

北九州

〔日時〕11月27日（金）13時半から15時〔場所〕カトリック小倉教会信徒会館2階〔指導〕ガブリエル神父（御受難修道会）〔内容〕「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎090・3985・5209 松田裕子

北九州召命を共に祈る会

〔日時〕11月12日（木）14時から〔場所〕カトリック北九州湯川納骨堂〔内容〕パリミツシヨンの司祭の為のごミサ（死者）〔司式・指導〕伊東成晃神父〔司教会主任〕〔問合せ先〕☎093・963・2359 江口

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月19日（木）11時〔場所〕カトリック健康教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健康教会☎096・368・2825 青木悟神父

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月29日（日）14時から〔場所〕福岡黙想の家カトリック案内所〔テーマ〕人間存在と祈り〔お話〕小宮豊氏（精神神経科医師）／来住英俊神父（カトリック福岡黙想の家院長）〔参加費〕会場内自由献金（コーヒートとお菓子つき）〔問合せ先〕☎0940・33・2731 吉永

紫苑 con 心のセミナー

〔日時〕11月24日（火）11時から〔場所〕聖クララ寮南区塩原〔内容〕死者ミサ〔問合せ先〕☎096・380・5686 堺

北九州

〔日時〕11月27日（金）13時半から15時〔場所〕カトリック小倉教会信徒会館2階〔指導〕ガブリエル神父（御受難修道会）〔内容〕「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎090・3985・5209 松田裕子

北九州召命を共に祈る会

〔日時〕11月12日（木）14時から〔場所〕カトリック北九州湯川納骨堂〔内容〕パリミツシヨンの司祭の為のごミサ（死者）〔司式・指導〕伊東成晃神父〔司教会主任〕〔問合せ先〕☎093・963・2359 江口

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月19日（木）11時〔場所〕カトリック健康教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健康教会☎096・368・2825 青木悟神父

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月29日（日）14時から〔場所〕福岡黙想の家カトリック案内所〔テーマ〕人間存在と祈り〔お話〕小宮豊氏（精神神経科医師）／来住英俊神父（カトリック福岡黙想の家院長）〔参加費〕会場内自由献金（コーヒートとお菓子つき）〔問合せ先〕☎0940・33・2731 吉永

紫苑 con 心のセミナー

〔日時〕11月24日（火）11時から〔場所〕聖クララ寮南区塩原〔内容〕死者ミサ〔問合せ先〕☎096・380・5686 堺

北九州

〔日時〕11月27日（金）13時半から15時〔場所〕カトリック小倉教会信徒会館2階〔指導〕ガブリエル神父（御受難修道会）〔内容〕「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎090・3985・5209 松田裕子

北九州召命を共に祈る会

〔日時〕11月12日（木）14時から〔場所〕カトリック北九州湯川納骨堂〔内容〕パリミツシヨンの司祭の為のごミサ（死者）〔司式・指導〕伊東成晃神父〔司教会主任〕〔問合せ先〕☎093・963・2359 江口

佐賀

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

熊本

〔日時〕11月19日（木）11時〔場所〕カトリック健康教会〔内容〕ロザリオと話し合い〔問合せ先〕健康教会☎096・368・2825 青木悟神父

熊本

〔日時〕11月7日（土）10時～12時〔場所〕佐賀カトリック会館〔内容〕ミサと祈り〔次回〕12月4日（土）毎月第1土曜日。どうぞご参加下さい。〔問合せ先〕☎0952・30・8347 吉武

佐賀

〔日時〕11月29日（日）14時から〔場所〕福岡黙想の家カトリック案内所〔テーマ〕人間存在と祈り〔お話〕小宮豊氏（精神神経科医師）／来住英俊神父（カトリック福岡黙想の家院長）〔参加費〕会場内自由献金（コーヒートとお菓子つき）〔問合せ先〕☎0940・33・2731 吉永

紫苑 con 心のセミナー

〔日時〕11月24日（火）11時から〔場所〕聖クララ寮南区塩原〔内容〕死者ミサ〔問合せ先〕☎096・380・5686 堺

北九州

〔日時〕11月27日（金）13時半から15時〔場所〕カトリック小倉教会信徒会館2階〔指導〕ガブリエル神父（御受難修道会）〔内容〕「みことばを味わう」賛美と感謝の祈り〔連絡先〕☎090・3985・5209 松田裕子

北九州召命を共に祈る会

〔日時〕11月12日（